

2003 年度第 4 回 関東支部環境工学専門研究委員会議事録（案）

記録：望月、修正：小瀬

1. 2003 年 7 月 18 日（金）18:00～20:20
2. 場所 建築会館 305 会議室
3. 出席者（敬称略・50 音順）
鍵（東京工業大学）、小瀬（東洋大学）、近藤（神奈川大学）、権藤（鹿島建設）、酒井（三井住友建設）、
朴（国立保健医療科学院）、堀（建築研究所）、望月（東海大学）、吉田（横浜国立大学）
オブザーバー：岩田（東海大学）、岡垣（東海大学）、和田（東海大学）
4. 提出資料
 - 4-0 第 3 回議事録（案）（鍵・小瀬）
 - 4-1 第 4 回議事次第（小瀬）
 - 4-2 環境工学専門研究委員会 勉強会テーマ（7/18 現在）（小瀬）
 - 4-3 反応によるオゾンと VOC の減衰特性 オゾンと VOC の化学反応による室内空気質の二次汚染 その 1・2（鍵）
 - 4-4 木質建材におけるホルムアルデヒド放散量と真菌成長の関係に関する研究（朴）
5. 審議事項
 - （1）前回議事録の確認（小瀬）
 - （2）公開勉強会の出欠と申し込み方法の確認
 - ・ 9/12（金）14:00-15:30 に IGES（地球環境戦略研究機関）にて実施する。見学会終了後、非公開勉強会および懇親会を行う予定。
 - ・ 委員の参加申し込みは、委員会にて取りまとめる。一般の参加については、関東支部 HP より申し込む。（案内は建築雑誌 7 月号に掲載予定）
 - （3）公開勉強会（委員会の成果報告会）について
 - ・ 関東支部支部発表会の日程 2004 年 3 月 4 日（木）～6 日（土）に併せて行い、支部発表会の活性化も図りたい。委員会の研究成果還元の意味から、委員が発表を行う。
 - ・ 昨年度は、地球環境（都市環境 etc）の問題について発表が行われた。テーマ設定は、主に以下の三案がある。メールで各委員の意向を伺う。
 - ① 今年度の環境工学専門委員会の「環境工学は、地域環境問題にどのように貢献できるか」に沿って、地域の循環型モデルや地域環境づくり、未来都市モデルなど環境工学周辺の分野も包含したテーマを設定する。
 - ② 若手で構成されていることを考えて、若手ならでのテーマを設定する。
 - ③ 各委員の専門分野を考慮して、室内環境・健康への環境影響 etc にすれば、現状から逸脱せず、労力も掛けずにできる。
 - （4）非公開見学会の企画進捗
 - ・ 六本木ヒルズに 10/15（水）、22（水）、29（水）のいずれかで実施する予定をしていたが、空調学会主催の見学会（参加費 4,000 円）の日程と近いこと、森ビルの見学と兼ねて火・金でないと見学できないこと etc から、上記日程で可能な他の物件を再検討することとした。
 - （5）非公開勉強会「反応によるオゾンと VOC の減衰特性 オゾンと VOC の化学反応による室内空気質の二次汚染 その 1・2」（鍵委員、資料 4-3）
 - ・ 物質単体でなく、オゾンと VOC が共存する場合の各物質の減衰特性について報告。
 - （6）非公開勉強会「木質建材におけるホルムアルデヒド放散量と真菌成長の関係に関する研究」（朴委員、

資料 4-4)

- ・ 日本において、「シックハウス」という言葉が生まれた一連の流れについて説明。
 - ・ 「シックハウスの問題解決」＝「化学物質の低減」だけではない。近年では、低放散木材を使うことにより、カビ等の新たな問題が発生している。環境問題はトータルのバランスで検討していくことが必要。
-

次回 「2003 年度 第 5 回 関東支部環境工学専門研究委員会」

日時：2003 年 9 月 12 日（金）15:30～17:00

場所：IGES（地球環境戦略研究機関、逗子）

議題：・ 非公開見学会の企画再検討

- ・ 非公開勉強会：堀委員、近藤委員（自立循環型住宅開発プロジェクト）

以上